

## DXによる製造業の省エネ・生産性向上を支援

タイ・ベトナムにてIoT, EMS及び自動化を通じた課題解決とSDGs貢献！  
— 中部電力ミライズ株式会社(愛知県名古屋市) —

国際協力機構（JICA）は、中部電力ミライズ株式会社（愛知県名古屋市、大谷真哉 代表取締役）との間で、本年3月に「中小企業・SDGsビジネス支援事業 案件化調査（SDGsビジネス支援型）」における以下の2件の業務委託契約を締結し、調査を開始しました。

### 【案件名】

- ① 「タイ国 IoT<sup>\*1</sup>、EMS<sup>\*2</sup>による製造業の生産性向上コンサルティングサービスの案件化調査（SDGsビジネス支援型）」（2019年度第1回採択事業）
- ② 「ベトナム国画像検査による製造業検査工程の自動化ソリューションサービスに関する案件化調査（SDGsビジネス支援型）」（2020年第2回採択事業）

開発途上国では、経済成長を持続的に支えていくために不可欠な省エネ技術やデジタル技術の人材育成へのニーズが高いものの、そのニーズに応えられる体制や人材が十分に整っておらず、大きな開発課題の一つになっています。

中部電力ミライズ株式会社は、中部地域の企業を対象に、これまでに取り組んできた工場設備の省エネルギー対策や検査工程の自動化を含む生産性向上を通じた豊富な知見を有しています。

これらの知見を活用した最適なエネルギー計測技術、モノのインターネット（IoT）デバイス、及びエネルギーマネジメントシステム（EMS）における構築・設計ノウハウの提供を通じて、開発途上国における課題・ニーズに即したコンサルティングビジネスを行うことを目指します。

また、同社のコンサルティングを通じて、製造業の顧客とともに社内の課題を分析し、工場管理における課題解決に図り、人材育成への支援を含む継続したエネルギーの最適利用の取り組みが計画されています。

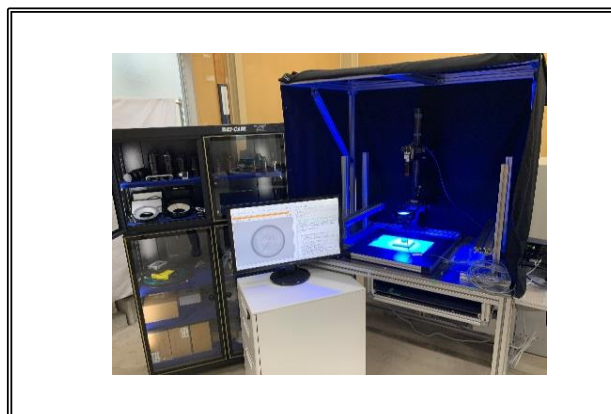
同社の取り組みにより、エネルギー効率の改善や生産性向上がなされ、ひいてはSDGsの達成に向けた貢献が期待されます。

\*1：IoT（Internet Of Things）

「モノのインターネット」を意味します。「モノ」をインターネットに接続することで離れた場所から対象物を計測したり、制御したりすることが可能になる技術です。

\*2：EMS（Energy Management System）

工場で使われるエネルギーの管理システムを意味します。情報通信技術を活用して、工場で使うガスや電気等のエネルギーの使用状況を使用と同時に把握し、管理し、最適化するシステムです。




①工場設備の最適運用サービスによる見える化  
 (タイ案件)

②検査工程の自動化ソリューションサービス  
 (ベトナム案件)

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査 (SDGs ビジネス支援型)」は、企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性を検討し、ビジネスモデルを策定するものです。将来的に、開発途上国の課題の解決・SDGs 達成と提案法人の海外事業展開との両立を図り、もって ODA を通じた二国間関係の強化や経済関係の一層の推進に資することを目的とします。

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 [https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>	日本の真ん中から世界へ JICA 中部  <a href="https://www.jica.go.jp/chubu/index.html">https://www.jica.go.jp/chubu/index.html</a>
JICA 中部企業連携課 担当：佐藤 (案件担当)	
TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751 E-mail : Sato.Yasushi@jica.go.jp	